



同級生で挑むプラント業界の新たな形 少数精鋭で設計から施工まで一貫対応

Company Data

プラントエンジニアリング株式会社

〒183-0051

東京都府中市栄町3-14-5

<https://plant-eng.com>



代表取締役

佐々木 明弘 [写真上]

機械工学を学んだのち、プラント業界に携わる。同業界での長年の経験を経て、同級生の木村氏を誘い、2024年に独立。プラントエンジニアリング(株)を立ち上げた。

取締役社長

木村 和宇 [写真下]

学業修了後は大手自動車メーカーに就職。工場の生産設備設計を手がけ、欧州の案件に従事する。退職したタイミングで佐々木氏の誘いを受け、共に独立。設計士としてのスキルを生かし、事業を支えている。

道端 お二人は同級生だそうですね。どのような経緯で起業に至ったのですか？

佐々木 私はもともと機械工学を学び、プラント業界に長年携わってきました。一方で、木村は異なる業界にいたものの、私が独立を考えたタイミングで声をかけたのがきっかけです。

木村 私は自動車の設計に携わりたくて大手自動車メーカーに就職し、工場の生産設備設計部署に配属されました。しかし、欧州をはじめ海外への長期出張が多く、自分の時間がほとんど取れなかったことと、大手ならではのルーティンワークに少し退屈を感じていたこともあり、ちょうど退職を考えていたタイミングで佐々木から声をかけてもらったんです。

道端 まさに新しいスタートを切るタイミングが重なったんですね。

佐々木 そうですね。最初は不安もありましたが、営業活動が続ける中で徐々にお客様も増えていきました。

道端 プラントエンジニアリングさんは、プラントの中でも設計を中心に手がけていらっしゃるのでしょうか？

木村 当社では設計から施工までを一貫して担っています。一般的には分業制が多く、大手ゼネコンなどでも設計は専門のコンサルタント会社に依頼するケースが主流です。しかし、分業になると管理が複雑になり、お客様の負担も大きくなってしまいます。

道端 一括でお願いできるのは、お客さんにとっても大きなメリットなのですね。

佐々木 そうなんです。そこで、できるだけ手間のかからない体制を考えた結果、ワンストップで対応する形にしました。

一人ひとりが図面作成から施工までを担うため、窓口も一本化され、相談しやすい環境になったと感じています。

道端 お二人とも生き生きと働かれている印象を受けました。どのようなところにやりがいを感じていますか？

佐々木 やはり、自分で設計図を描いたものが形になるということが、この仕事の魅力だと思っています。

木村 私は、お客様か

Guest Comment



道端 アンジェリカ (モデル・タレント)

お二人の息の合ったやり取りから、厚い信頼関係と強い結び付きを感じました。それぞれのご経験を生かしながら、ものづくりに真摯に向き合われている姿勢が素敵です。また、設計から施工までを一貫して担うスタイルは、お客さんにとっても非常に心強いと思います。今後のさらなるご活躍を、私も期待しています！

ら直接「ありがとう」と言っていたけることです。前職ではお客様の声を直接聞く機会が少なかったため、そのぶんやりがいを強く感じています。

道端 最後に、今後の目標についても聞かせてください。

木村 現在はプラント関係の案件が多いですが、今後他分野にも積極的に参入し、いただいたご相談には幅広く対応していきたいです。

佐々木 会社としては、あまり規模を大きくするつもりはありません。社員数は10名程度に抑えつつ、全員が設計から施工まで対応できる少数精鋭組織を目指しています。今後は人材育成にもより一層力を入れていき、会社全体がどの分野にも対応できる体制を整えていきたいですね。

